

## 【研究主題】

義務教育9年間で資質・能力を育成するための教育課程の再構築に関する研究開発

文部科学省研究開発学校（延長3年次）

京都教育大学附属京都小中学校

2002

小中一貫教育の教育課程と  
学校システムの研究に着手

2010

キャリア教育を中核に据えた  
小中一貫教育学校としてスタート

2017

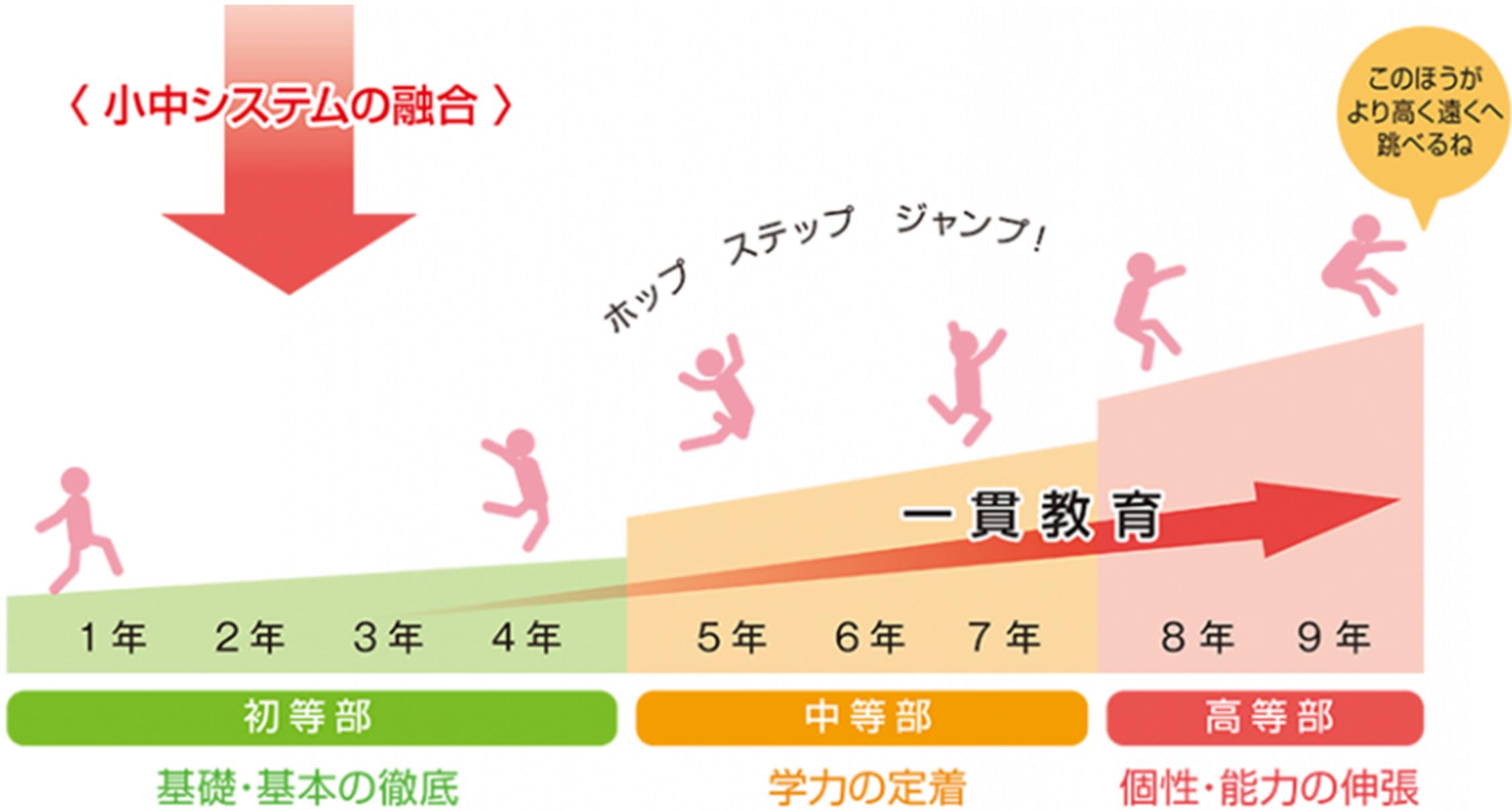
国立大学附属学校で初の  
義務教育学校に移行

2018

文部科学省研究開発学校指定  
(4年間)

2023

文部科学省研究開発学校指定  
(延長3年間)



学校教育目標

未来の社会に躍動する生徒の育成

急速にグローバル化、情報化する21世紀型社会において、社会の変化に対応しつつ、主体的に社会と関わり、国際社会の形成者として必要な資質・能力を、次の5つの柱を中心として総合的に育成する

(1)

高い知性

(2)

豊かな感性

(3)

柔軟な創造性

(4)

逞しい心身

(5)

敬愛の精神

「キャリア教育」の理念を中心として

# 研究開発課題

1

義務教育9年間で  
育てるべき  
資質・能力の  
検討と改善

2

発達の段階に応じた  
各教科における  
学習の目標と内容の  
検討及び再構築

# 研究仮説

1

各教科で身に付けた資質・能力  
を活かす場として、  
生活科・総合的な学習の時間を  
中核においた、  
資質・能力ベースの  
義務教育カリキュラムの構築

2

資質・能力ベースでの  
学びの開発



## 本校が目指す生徒像

リーダー学びに向かう力・人間性等  
シップ

チーム  
ワーク

社会  
参画性

自己  
コントロール力

知識  
技能

思考力・判断力・表現力等

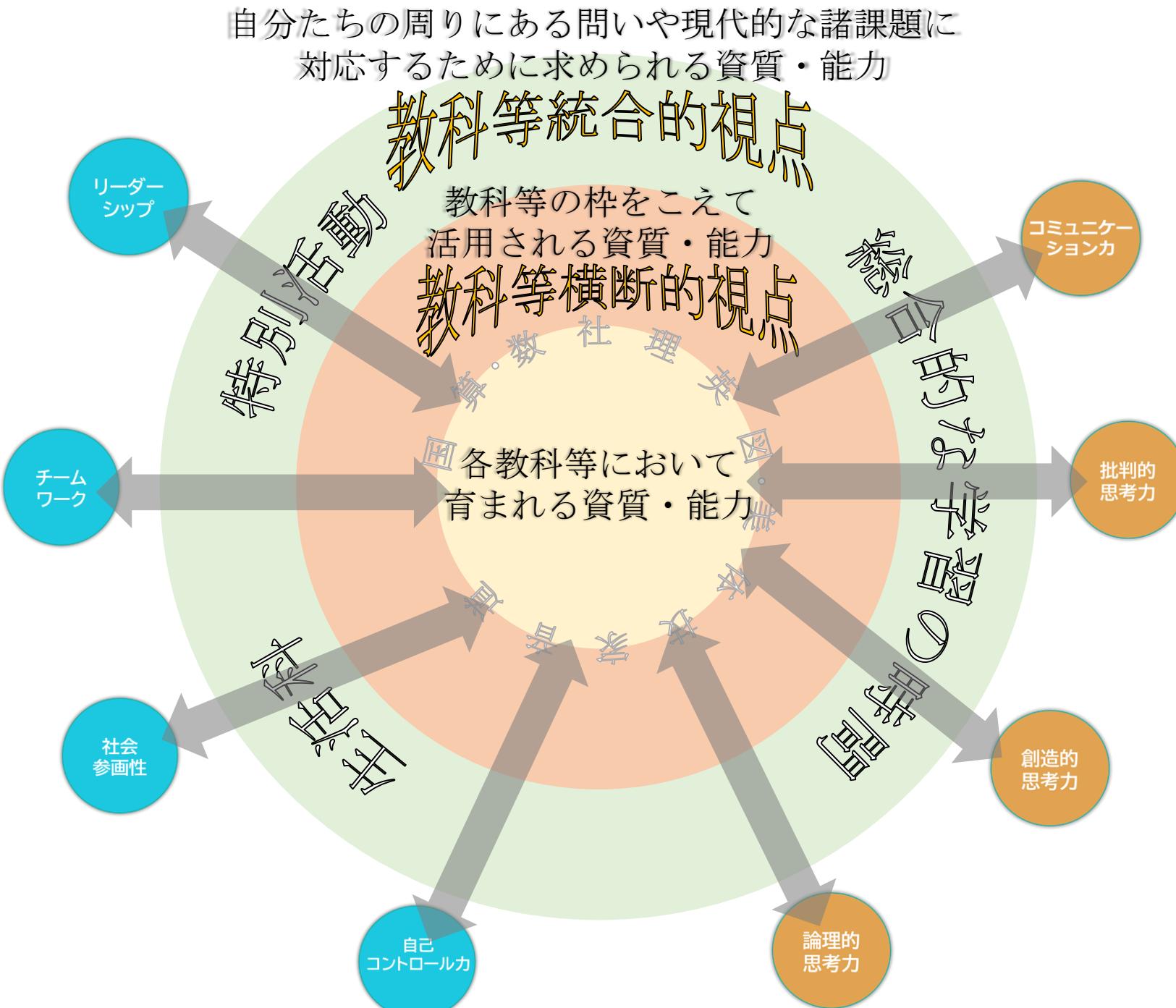
論理的  
思考力

創造的  
思考力

批判的  
思考力

コミュニケーション力





1年 2年 3年 4年

5年 6年 7年

8年 9年

初等部

中等部

高等部

生活科や他教科  
との関連性

3年生からの家庭科

3年生からの技術科(情報分野)

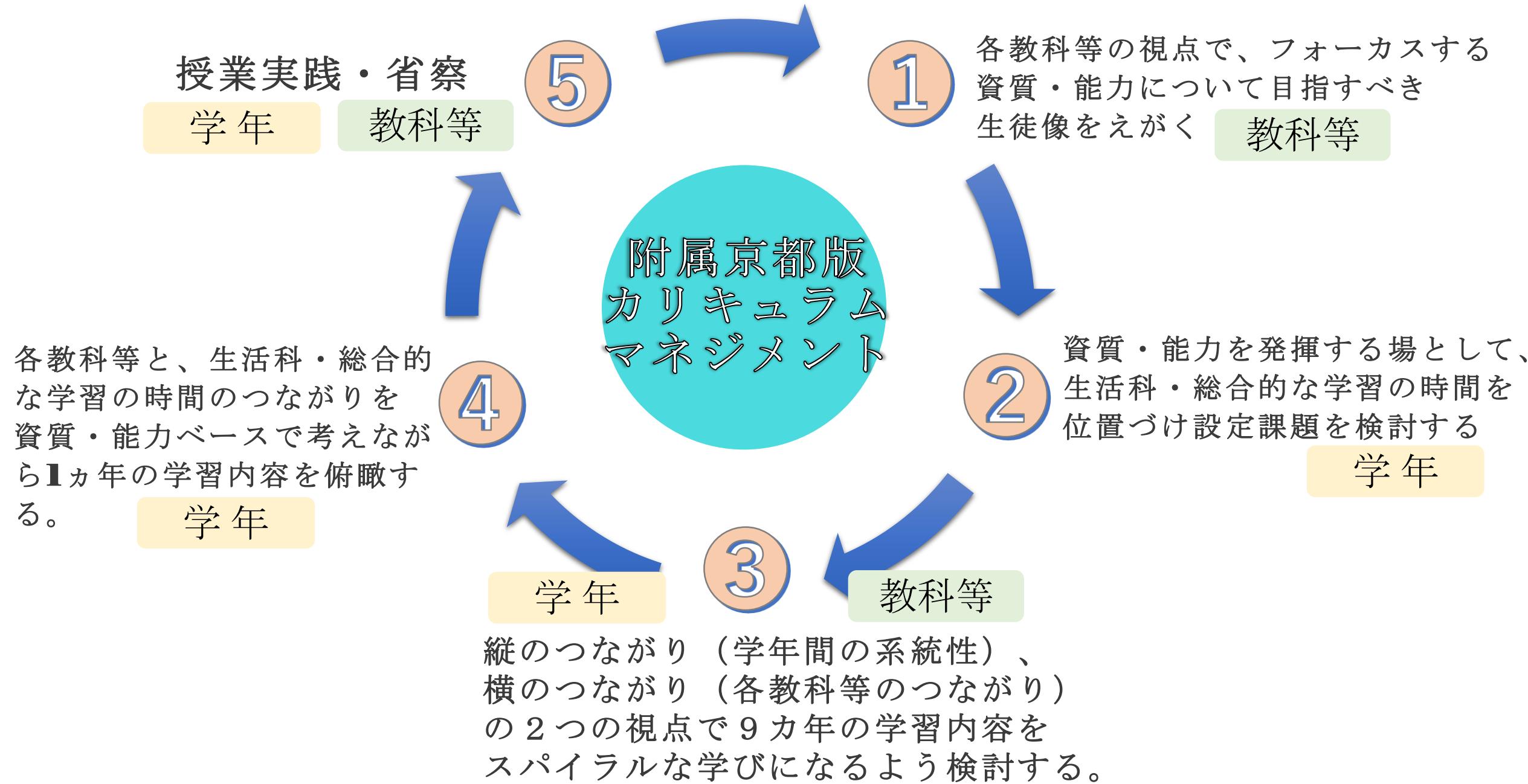
第3学年から第6学年の各教科  
(国語・算数・社会・理科) のプログラミングに関する  
学習内容を技術科の学習する内容として再編

生活科・総合的な学習の時間 (特別支援学級は「せいかつ」) を中核においたカリキュラム

6年生からの社会科 歴史領域通史

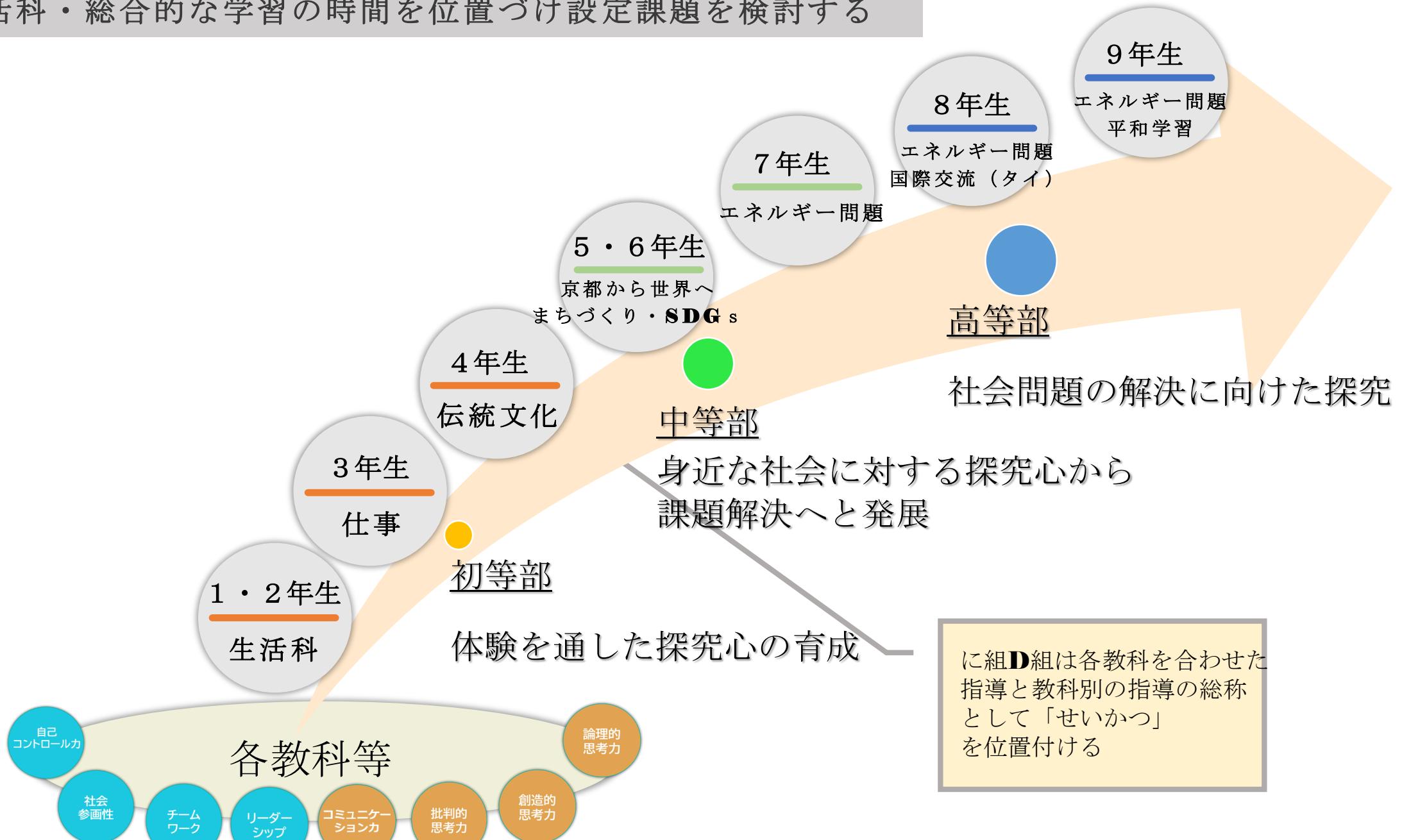
カリキュラムの整理によって生まれた余白を、  
探究的な活動や総合的な学習の時間にあてる

1年生から英語科 (1年生～6年生 週3回のモジュール学習)



# 未来の社会に躍動する生徒の育成

2 資質・能力を発揮する場として、  
生活科・総合的な学習の時間を位置づけ設定課題を検討する



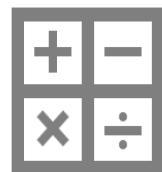
A (リベラルアーツ) を円心に、  
探究の視点を広げていく



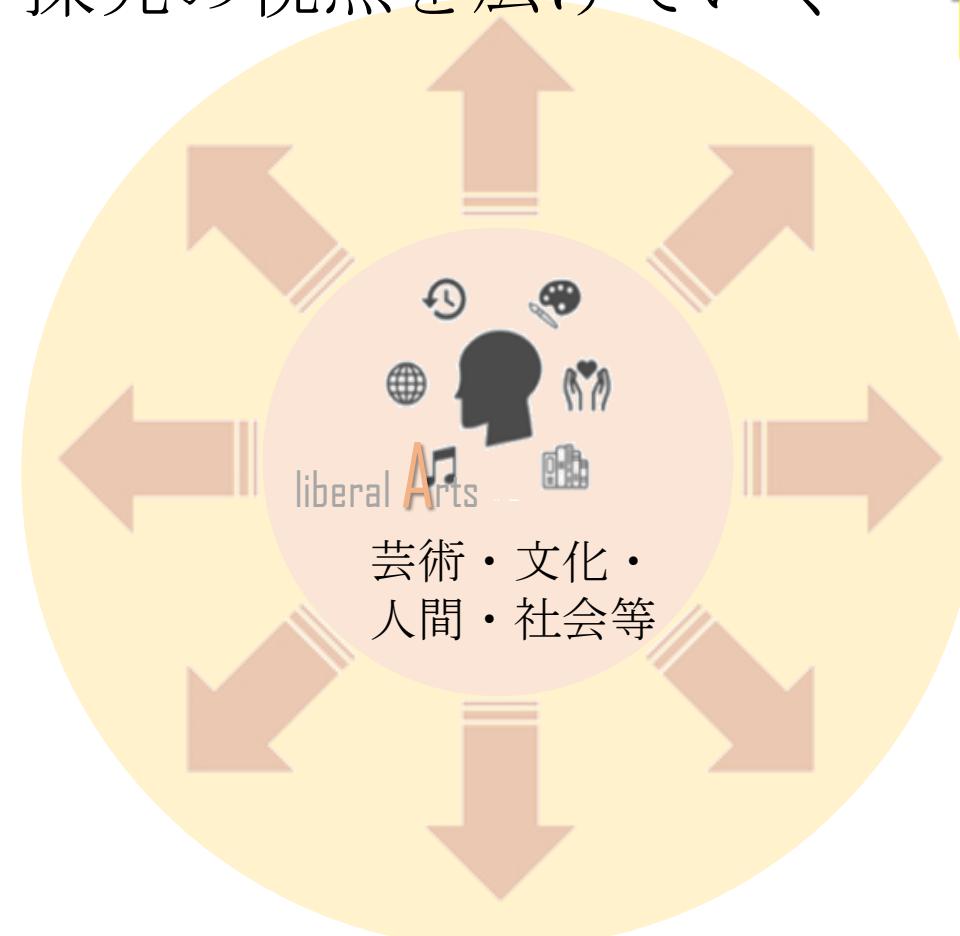
T  
Technology



M  
Mathematics



E  
Engineering



社会への価値の創出を可能にするために  
探究の視点としての**STEAM**

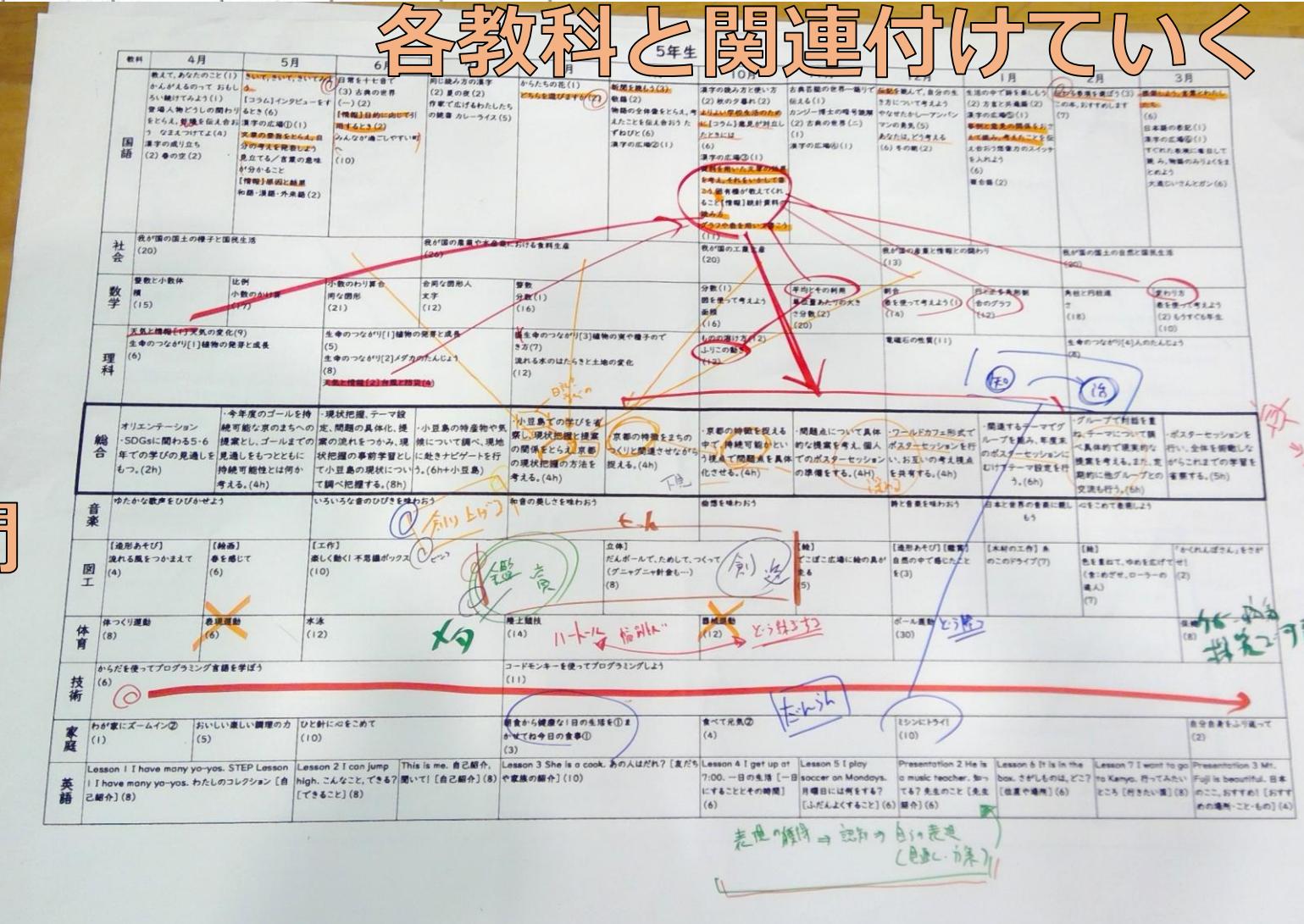
③ 縦のつながり（学年間の系統性）、横のつながり（各教科等のつながり）の2つの視点で9カ年の学習内容をスパイラルな学びになるよう検討する。

4年生

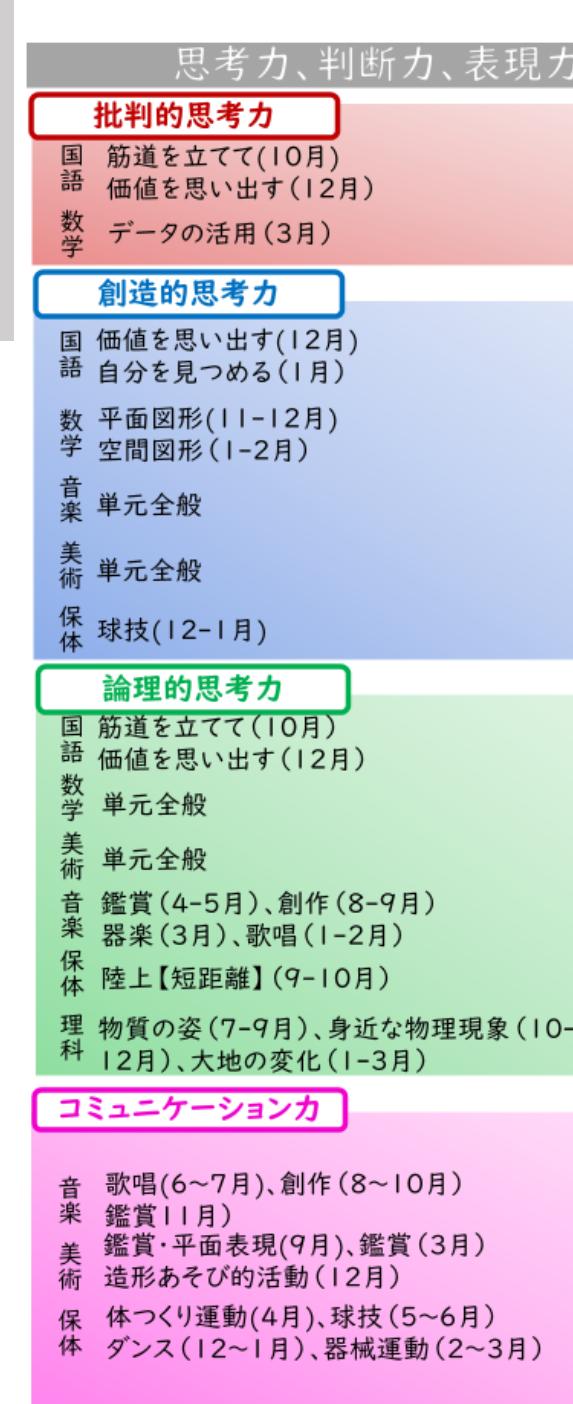
教科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
国語	こんなところが同じだね(1) 春のうたつづけでみよう(1) 画面と場面をつなげ読み、考えたことを語ろう「いびばし」(8) 図書館の達人になろう(1) 漢字の読み立て(2) 漢字辞典の使い方(2) 春の楽しみ(2)	開き取りメモの工夫(6) 漢字の広場(1)(2) 筆者の考え方を読んで、読み、感想を書こう「一つの『思いやりのデザイン』」(8) 「アップヒールズで伝えよう」(1) 【じょうほう】「考え方と例」(9) カンジーはかぜの都道府県の読み(1)(2) 新聞を作ろう「アンケート調査のしかた」(14)	お札の乳持ちを伝えよう(7) 漢字の広場(2)(2) 筆画の筆をくらべて読み、(8) 筆の書き方を覚えよう「一つの『思いやりのデザイン』」(8) 「アップヒールズで伝えよう」(1) 【じょうほう】「考え方と例」(9) カンジーはかぜの都道府県の読み(1)(2) 新聞を作ろう「アンケート調査のしかた」(14)	カンジーはかぜの都道府県の筆を味わおう(2) 漢字の広場(2)(2) 筆画の筆をくらべて読み、(8) 筆の書き方を覚えよう「一つの『思いやりのデザイン』」(8) 「アップヒールズで伝えよう」(1) 【じょうほう】「考え方と例」(9) カンジーはかぜの都道府県の読み(1)(2) 新聞を作ろう「アンケート調査のしかた」(14)	お札の乳持ちを伝えよう(7) 漢字の広場(2)(2) 筆画の筆をくらべて読み、(8) 筆の書き方を覚えよう「一つの『思いやりのデザイン』」(8) 「アップヒールズで伝えよう」(1) 【じょうほう】「考え方と例」(9) カンジーはかぜの都道府県の読み(1)(2) 新聞を作ろう「アンケート調査のしかた」(14)	秋の楽しみ(2) いろいろな意味をもつ言葉(2) 漢字の広場(3)(2) 漢字の広場(4)(2)	パンフレットを読もう(2) クラスのみんなで決めるには(9)	秋の楽しみ(2) いろいろな意味をもつ言葉(2) 漢字の広場(3)(2) 漢字の広場(4)(2)	パンフレットを読もう(2) クラスのみんなで決めるには(9)	秋の楽しみ(2) いろいろな意味をもつ言葉(2) 漢字の広場(3)(2) 漢字の広場(4)(2)	パンフレットを読もう(2) クラスのみんなで決めるには(9)	秋の楽しみ(2) いろいろな意味をもつ言葉(2) 漢字の広場(3)(2) 漢字の広場(4)(2)
社会	都道府県の様子(10)	人々の健康や生垣環境を支える事業(24)	自然災害から人々を守る活動(16)	島内の伝統や文化。先祖(20)								
数学	わくわく算数(1) 角とその大きさ(8) 一義をこえる数(8) 折れ線グラフ(6)	かけたでわる割り算の筆算(10) 直線・平行と四角形(18)	小数(9) 算数の自由研究(1)	かけたでわるわり算の筆算(11) 割合(4)	式七計算の順じよ(8) そろばん(1) 面積(10)							
理科	季節と生物(1) 春の始まり(7) 気温と気温(7)	季節と生物(6)	季節と生物(2)	季節と生物(2)	夏と月(8) 月と星の位置の変化(8)	夏と月(8) 月と星の位置の変化(8)	夏と月(8) 月と星の位置の変化(8)	夏と月(8) 月と星の位置の変化(8)	夏と月(8) 月と星の位置の変化(8)	夏と月(8) 月と星の位置の変化(8)	夏と月(8) 月と星の位置の変化(8)	
総合	伝統文化とは 「和食」「和風祭」にテーマから課題設定(6h)	調べ学習→まとめ(1) 調べて分かったことの整理→交流(12h)	調べて学習→まとめ(1) 調べて分かったことの整理→交流(12h)	論理→実験(2)	論理→実験(2)	論理→実験(2)	論理→実験(2)	論理→実験(2)	論理→実験(2)	論理→実験(2)	論理→実験(2)	
音楽	いろいろなリズムを感じよう(6)	飛び出すハッピーパーフ(4)	タグ取りゲーム(10)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	
体育	体操(2)	タグ取りゲーム(10)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	跳ね(4)	
英語	私の仕事と生活時間(1) 自分自身をひき立てる(1)	自分で元気(2)(4)	夏をすずしくわくわくに(3)	和食を味わおう(3)								

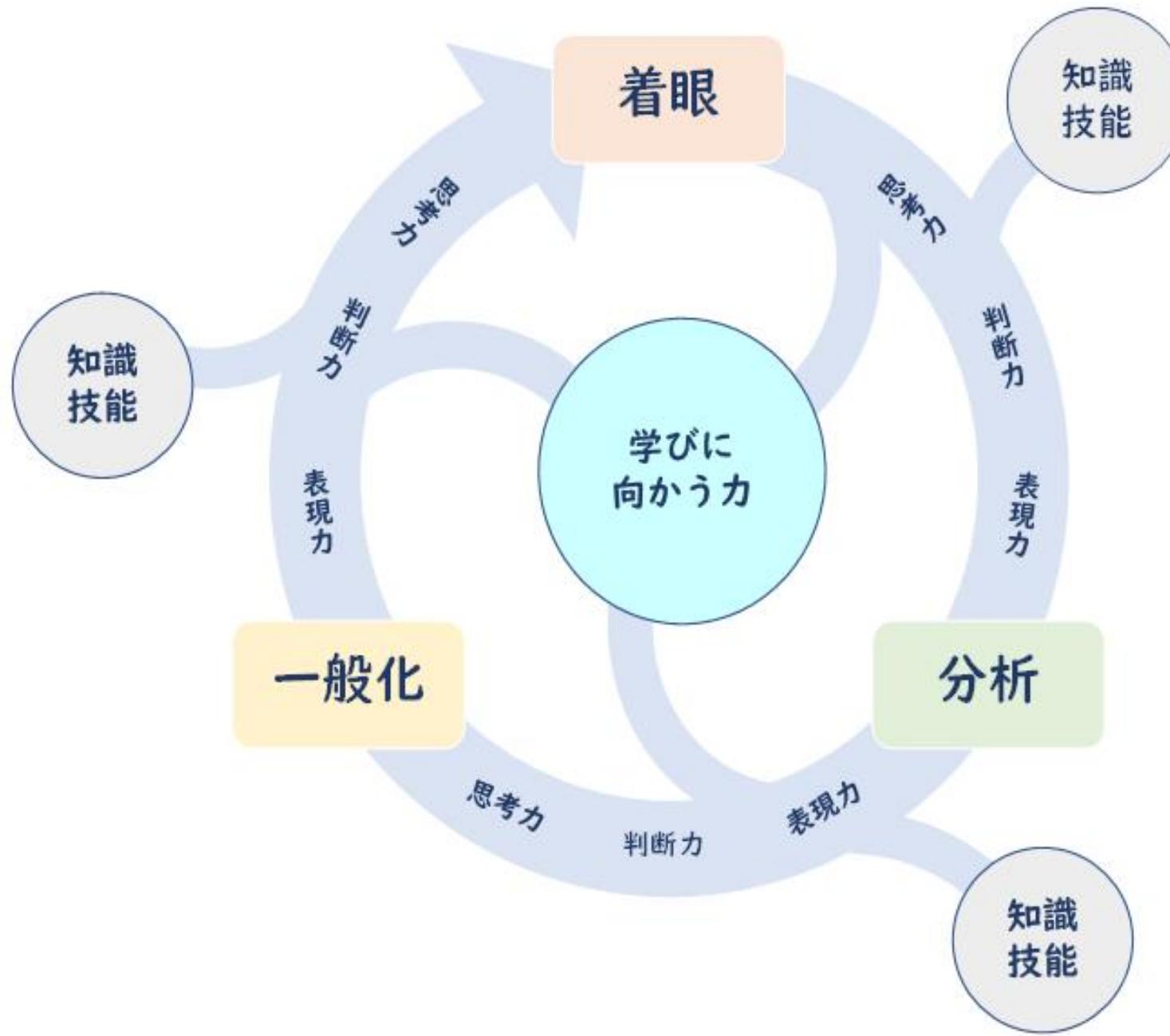
# 生活科・総合的な時間を中心においた单元配列表

資質・能力をベースに各教科と関連付けていく



4 各教科等と、生活科・総合的な学習の時間のつながりを資質・能力ベースで考えながら1か年の学習内容を俯瞰する。





---

# 『研究開発の成果と分析』

— “量的な視点”と“質的な視点”から—

# 教育における“量的な視点”と“質的な視点”

---

## 量的な視点

- 数値や統計など客観的に学びの成果を捉えようとする視点
- 一般的な例) 学力調査や検査、アンケート調査結果 など

## 質的な視点

- 数値化が難しく、子どもの学びの観察やプロセス、規準表などにより学びの成果を捉えようとする視点
- 一般的な例) 主体的に学習に取り組む態度、発表や表現物、評価規準表、ルーブリック など

評価する対象によって適正あり。また、相互作用的に捉える必要性。

# 評価の対象を具体化

子ども	各教科等 (特に、教科、総合的な学習の時間について)	研究主題
教育活動のどの場面でどのような視点で子どもの学びを見取り、評価するのか	資質・能力の育成を軸とした授業開発・カリキュラム開発についての評価	“義務教育9年間で資質・能力を育成するための教育課程の再構築に関する研究開発”における総括的評価

## 質的な視点

- # 各教科等の授業における子どもや小集団の学びの見取り
- # 独自のカリキュラムの編成に関する教科・領域授業での子どもの学びの見取り
- # 検査やアンケートにおける個別的な変容分析

## 量的な視点

- # 各教科等の授業における子どもや小集団の学びの見取り
- # 独自のカリキュラム編成に関する教科・領域の評価
- # 評価基準表における資質・能力の整理、整合による評価
- # 各教科独自の検査やアンケート分析結果による評価
- # 教科連携協力者等の教科教育専門家からの評価
- # 研究協議会参観者からの評価

- # 主体的な学びのアンケート結果
- # 本校教職員からの研究についての評価
- # 学校評価からの保護者評価
- # 運営指導委員会、教科連携協力者等の教育専門家からの評価
- # 研究協議会参観者からの評価

# 評価の対象を具体化

## 各教科等

### 【量的な視点】主体的な学びのアンケート結果

教育活動で子どもたちが

(特に教科・総合的な学習の

研究主題

質・能力を育成する再構築に関する  
研究開発”における総合的評価

## 質的な視点

## 量的な視点

### 【質的な視点】

### 評価規準表と資質・能力との整合

#各教科

#独自のカリキュラムの構成に関する教科・領域授業での子ども

ト結果について

の学びの見取り

#独自のカリキュラム構成に関する教科・領域の評価  
井評価基準表における資質・能力

#学校評価からの保護者評価  
井運営指導委員会、教科連携協力の評価

#検定的

### 【質的な視点】資質・能力の活用・発揮場面での 経年的な見取り

門家からの評価

#研究協議会参観者からの評価

# 【量的な視点】 主体的な学びアンケート

## 番号 質問内容

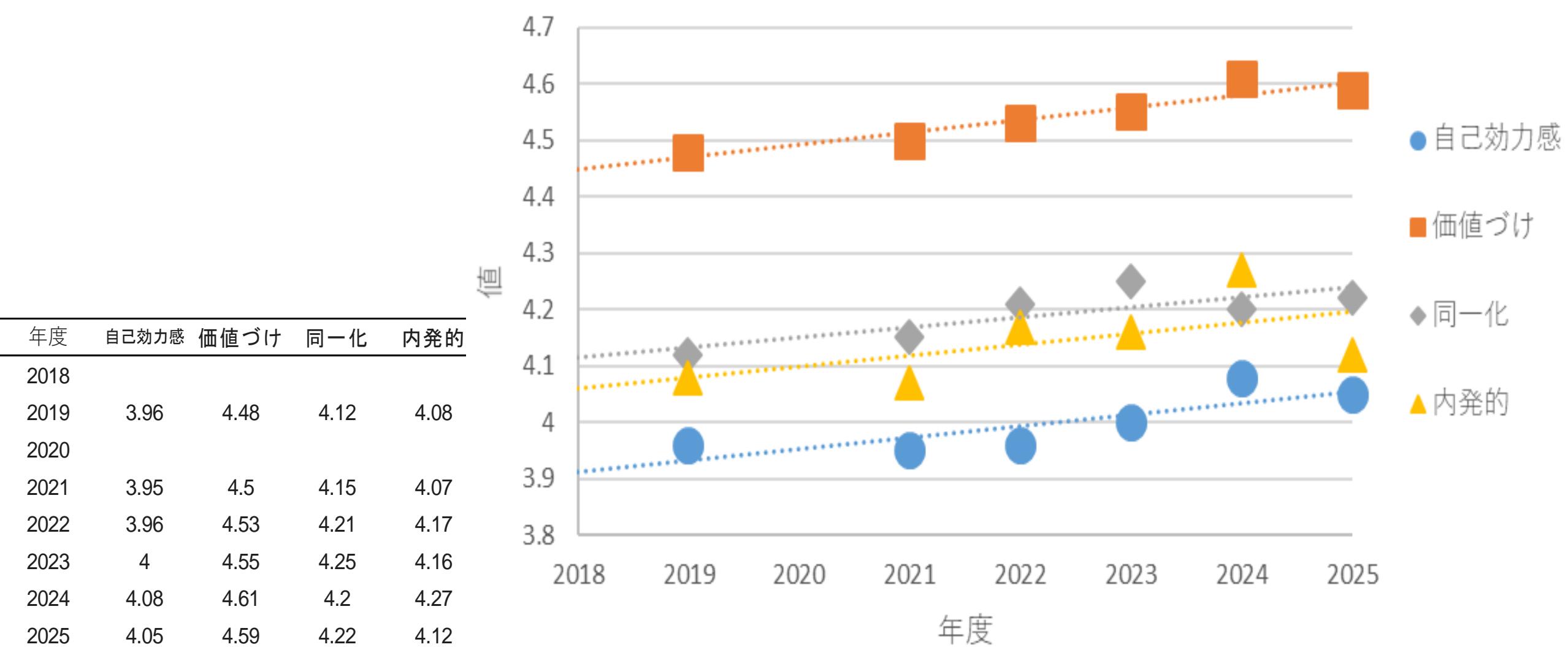
- 1 学校の学習内容を理解する自信がある。
- 2 学校の学習に取り組んでいく自信がある。
- 3 学校の学習は、得意なほうだと思う。
- 4 学校で知識を多く身につけることは大切だと思う。
- 5 解決するのが難しい出来事について、今まで知らなかったことが、わかるようになるのは楽しいと思う。
- 6 テレビやインターネット等で流れている情報について、学校の知識をもとに、一度、考え直してみることは大事なことだと思う。
- 7 解決するのが難しい出来事に関して、いろいろな疑問をもつことはおもしろいと思う。
- 8 解決するのが難しい出来事について、自分のふだんの生活に結びつけてみることは大事なことだと思う。
- 9 解決するのが難しい問題について、実際に確かめて、事実を知ることは楽しいと思う。
- 10 解決するのが難しい出来事について知ると、ふだんの生活の役に立つことが多いと思う。
- 11 解決するのが難しい問題について、いろいろと自分で詳しく調べてみたいと思う。
- 12 解決するのが難しい出来事について知った事実は、人に伝えることが重要だと思う。
- 13 解決するのが難しい問題について、実際に確かめて、いろいろと考えを深めることが楽しいと思う。
- 14 解決するのが難しい問題について、自分の言葉で説明できることが大切だと思う。
- 15 ある教科の知識や考え方を、他の教科の学習でも、積極的に活用したいと思う。
- 16 学校で学んだことは、物事が正しいか、誤っているかを判断するときに役に立つと思う。
- 17 学校で学んだ知識や考え方をもとに、人と意見交換をするのが楽しいと思う。
- 18 解決するのが難しい出来事について、実験で確かめてみることは、大事なことだと思う。
- 19 解決するのが難しい問題について、その証拠を考えながら、話し合うのがおもしろいと思う。
- 20 学校で学んだ知識をもとに、自分の周りのことについて、正しいか誤っているか、考え方とは大切だと思う。

# 【量的な視点】 主体的な学びアンケート

番号	質問内容
	<p>自己効力感</p> <p>と思ふ。 で知らなかつたことが、わが 報について、学校の知識をも いろな疑問をもつことはおも のふだんの生活に結びつけて</p> <p>9 解決するのが難しい問題について、実際に確かめて、事実を知ることを楽しいと思う。</p>
	<p>価値づけ</p> <p>と思う。</p>
	<p>同一化的動機づけ</p> <p>事実は、人に伝えることが重 確かめて、いろいろと考えを 言葉や説明できることが大切 習でも、積極的に活用したい っているかを判断するときには 意見交換をするのが楽しいと で確かめてみることは、大事 握を考えながら、話しあうの</p> <p>10 解決するのが難しい出来事について知ると、ふだんの生活の役に立つことが多いと思う。</p> <p>11 解決するのが難しい問題について、いろいろと自分で詳しく調べてみたいと思う。</p>
	<p>内発的動機づけ</p>
	<p>12 今自分が子供に知識をもつて、自分の周りのことについて、正しいか誤っているか、考え方には大切だと思う。</p>

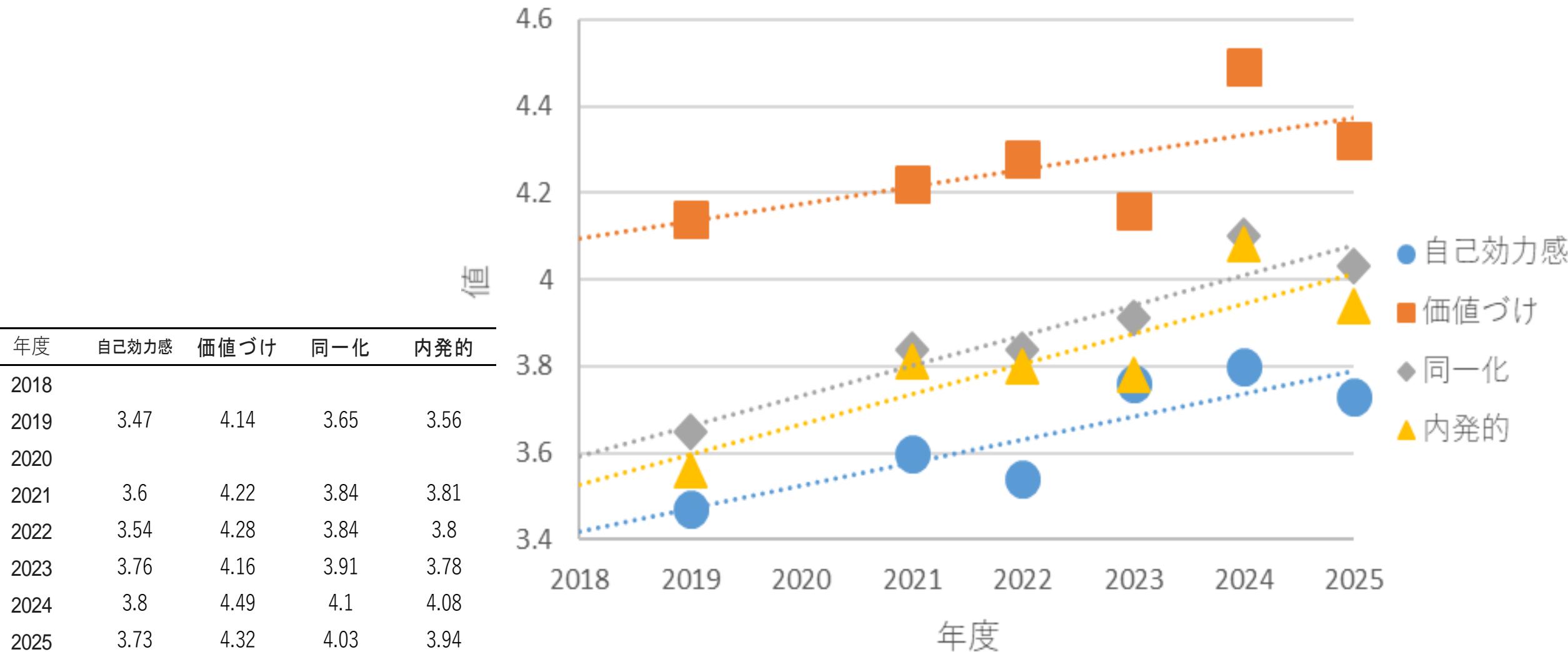
# 【量的な視点】 主体的な学びアンケート

## 分析 I | 各項目における全体平均の年度ごとの推移



# 【量的な視点】 主体的な学びアンケート

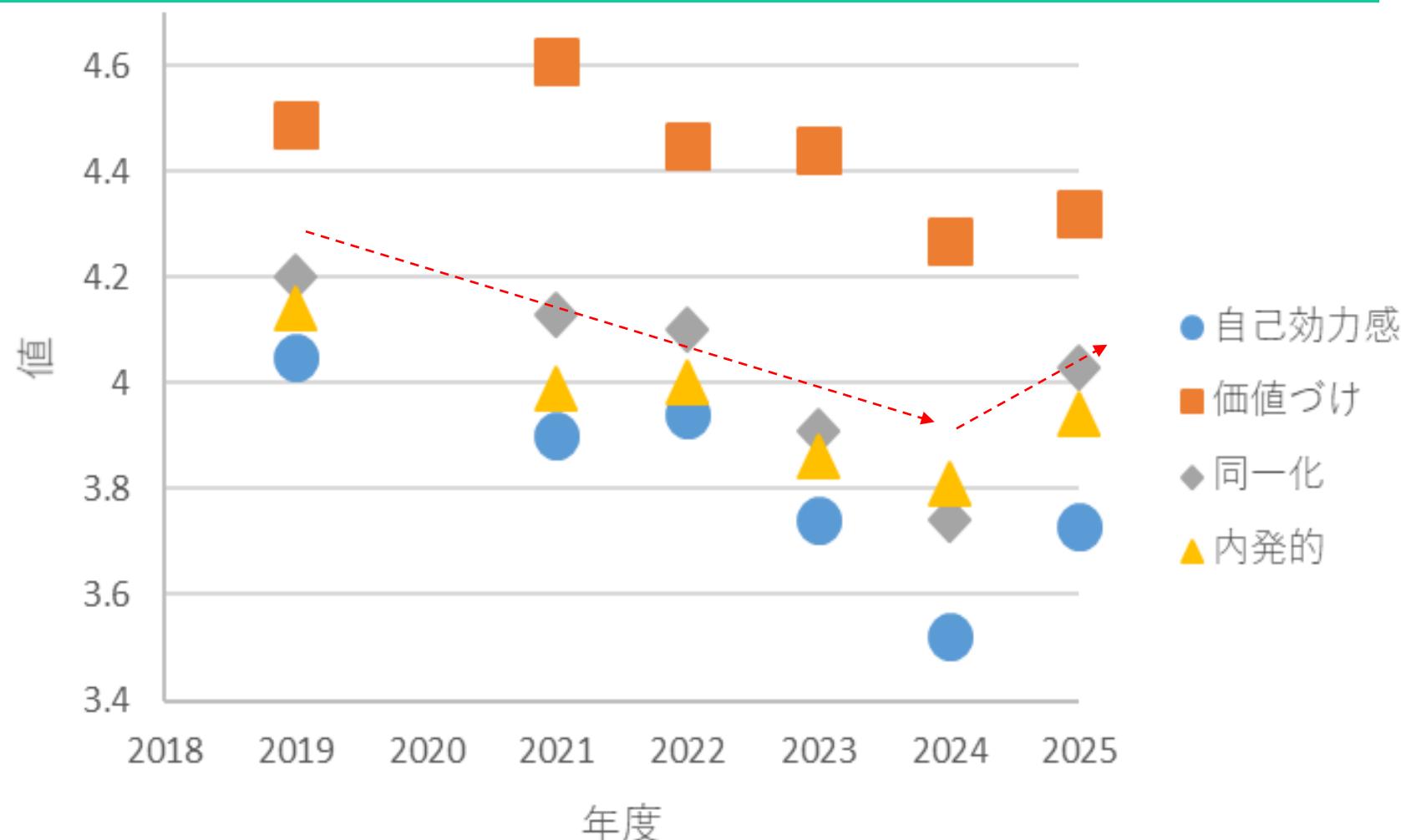
## 分析Ⅱ | 第9学年における年度ごとの各項目の変容



# 【量的な視点】 主体的な学びアンケート

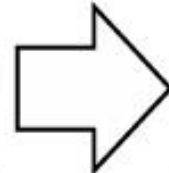
## 分析III | 同一集団における(2025年度時点で第9学年) における各項目の経年変化

年度	自己効力感	価値づけ	同一化	内発的
2018				
2019	4.05	4.49	4.2	4.14
2020				
2021	3.9	4.61	4.13	3.99
2022	3.94	4.45	4.1	4
2023	3.74	4.44	3.91	3.86
2024	3.52	4.27	3.74	3.81
2025	3.73	4.32	4.03	3.94



# 【質的な視点】評価規準表と資質・能力との整合

主体的に学習に取り組む態度
物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとするとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。
・身の回りの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
・身の回りの物質について、学んだことを学習や生活にいかそうとしている。



主体的に学習に取り組む態度	リーダー	チーム	社会	自己
物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとするとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。				
・目的を仲間と共有し、達成のため仲間と協力しながら、身の回りの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		○		○
・身の回りの物質について、既存の知識や学んだことをつなげながら深く考察し、積極的に学習や生活にいかそうとしている。			○	

## 8年美術評価規準表

観点	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	批判	創造	論理	コミュ
学年の目標	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。				
	・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。	・感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。		○		○
	・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	・伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ることができる。		○	○	○
		・伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ることができる。		○	○	○
		・伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ることができる。		○	○	○

# 評価規準表

8年美術評価規準表

観点	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	批判	創造	論理	コミュ
学年の目標	<p>対象や事象を捉える造形的な観点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。</p> <p>・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。</p> <p>・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p>	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>・感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、対象や事象を深く見つけ感じたことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることがができる。</p> <p>・伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ることができる。</p>				
			○	○	○	

# 単元構想図

分節	○生徒の学習活動	・指導者の支援及び留意点
着眼	<p>○前の時間の振り返り、課題の「漫画」から個々が読み取った、作品表そうとしていることや表現の工夫の「気づき」を確認する。</p> <p>【個人の活動】</p> <p>○グループごとに個々の「気づき」を紹介しあい、他の「気づき」の相違点を整理する。</p> <p>【3~4人グループの活動】</p>	<p>○グループの議論がスムーズに進むために前時の「プリント」から、自分の「気づき」を整理する。</p> <p>○自分が面白いと思ったところを起点にグループでの積極的な交流を図る。</p>

○題材「7P」を2P・3P・2Pに3分割し、割り当てのページを集中的に読み解く。
*記録と進行等の役割分担をしながら…
【3~4人グループの活動】
○グループごとに、作品の各ページ・各コマ・または全体を流れから、作者の「表したいこと」また「そのための工夫」を読み取り、まとめていきましょう。
○読み取りのポイント】
①登場人物の行動や考え方や感情
②場面の状況(時間や空間・文化)
《表現技法上の工夫》
(ア)コマの配置や大きさ
(イ)効果線(集中線・スピード線等)
(エ)キャラクターの大きさや構図・面
(エ)キャラクターの形や動勢(緩急)

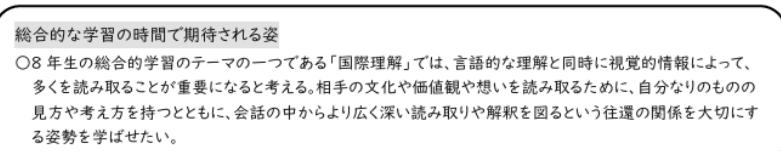
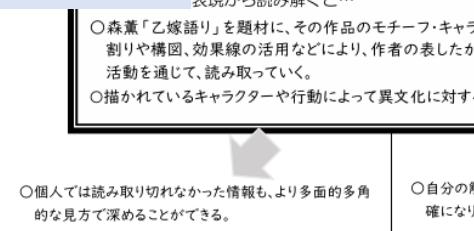
【Aタイプ】自身の「気づき」をグループ内で発表し、他の意見を聞き取ろうとすることができる
【Bタイプ】他者の発見や気づきを重視し、見方や考え方の相違を共感的に理解することができる
【Cタイプ】自他の「気づき」から、作者の表現の工夫や意図・想いを理解し、他者に説明できる。
【aタイプ】既習事項を基に、テーマとなる作品を論理的に見ることができる。
【bタイプ】自分なりの見方や考え方を持ち他者との相違や共通性を理解することができる。
【cタイプ】自他の「気づき」の相違や共通性を基にしながら、作者の表現の工夫に対して自分なりの感想や見方考え方を深めることができる。

○グループで話し合った「作者が表したかったこと」そのための「表現上の工夫」を発表しましょう。
○三分割した7ページを順に発表していく。
発表の内容が、共通点があるものと、相違点があるものとを整理しながら、発表する。
○他のグループに対する質疑応答を行い、作品解釈や表現の工夫を交流していく。
【全体での活動】
○自分が面白いと思った事柄を整理・まとめる
【個人の活動】

## 資質・能力を軸として一貫して

## 計画・指導・見取り・評価

## 本時の展開 本時の評価



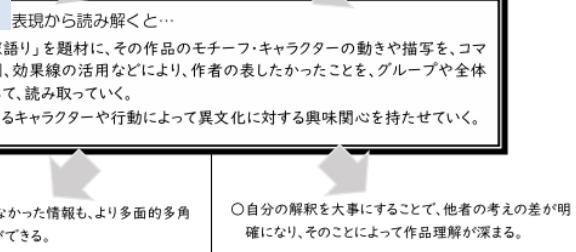
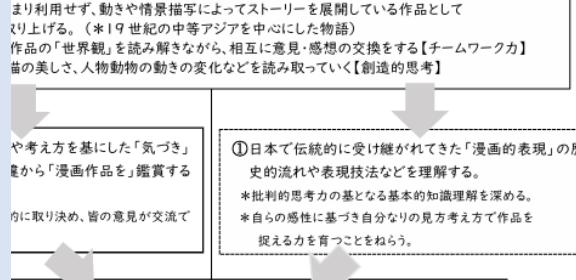
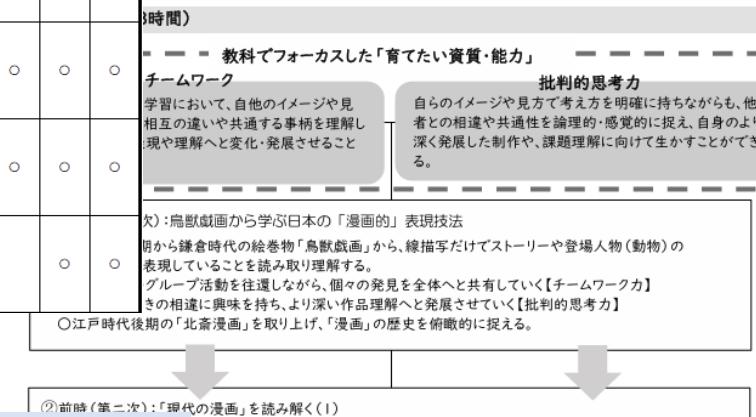
### 4 本時の評価

既習事項を基に作品のテーマや表現の工夫に気づき、それらを整理しまでいる。 【知識・技能】

・自分なりの「気づき」を大切にしつつ、他者の意見を理解し多面的多角的に作品理解を深めている。 【思考・判断・表現】

・協同的に「漫画表現」のテーマやその工夫について議論を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】

# 単元構想図



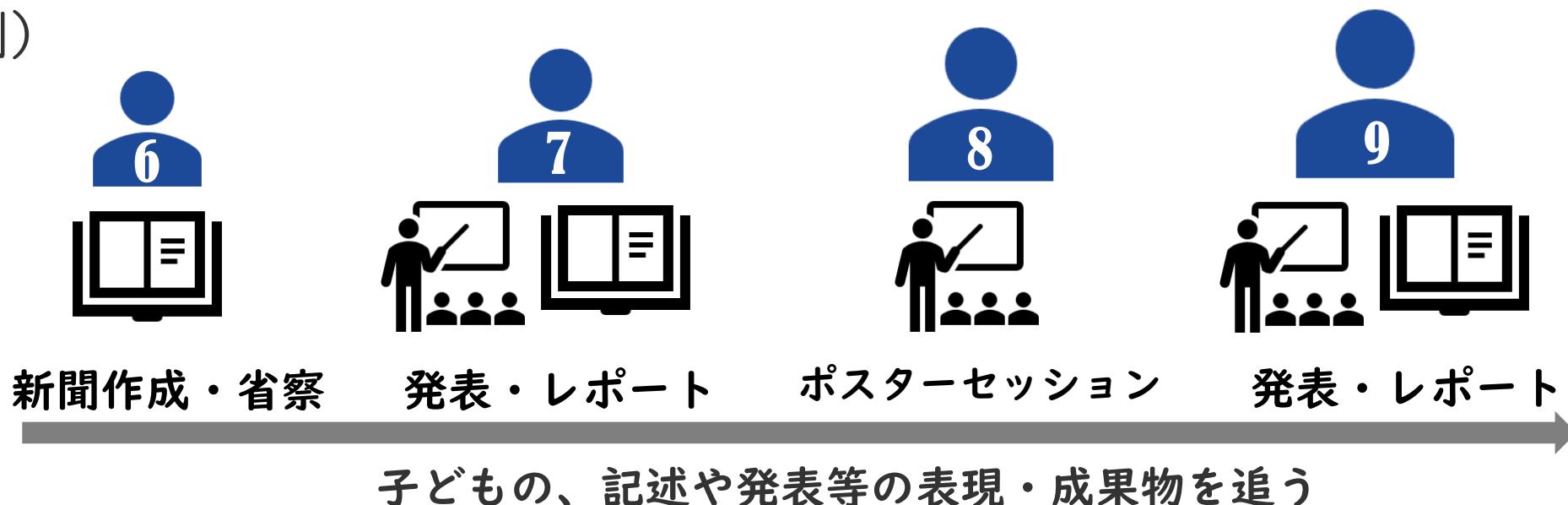
## 【質的な視点】資質・能力の活用・発揮場面での 経年的な見取り

- 抽出の子どもにフォーカスした個別的な見取り

⇒資質・能力を中心としたカリキュラムの評価につながる

⇒例年、表現方法が異なる中でどう資質・能力の活用・発揮を見取るのか

(例)



# 【質的な視点】

## 資質・能力の活用・発揮場面での経年的な見取り

### ● 抽出の子どもにフォーカスした個別的な見取り

### 生徒Aの具体

6年生 : SDGs『Do You Kyoto?』

#### 【京都の水】

6

僕がいま、何も感じずに使っている「水」に対しての理解が深まり、「水」を大切にしようと思った。(中略)自分達が良い生活をしていく、ゆうふくなことを知った。

#### 【京都の木の文化】

- (1)京都にある環境に配慮した建築物を調べる。
- (2)京都府産木材の活用状況について調べる。
- (3)木造建築が環境にやさしい理由についてくわしく調べる。

今日は、今日の学習で、水の大切さを学びました。世界では、自分たちのようにやさしいものは、なかなか出てくる人はかりでいません。水くみに8時間も使う人がいるということを知りました。僕がいま、何も感じずに使っているらしく、水に対する理解が深まり、「水」を大切にしようと思った。僕は最初、あの水を見た時に、一瞬、うまいと感じました。でも、その後の動画を見て、自分達が良い生活をしていく、ゆうふくなことを知った。

今後の課題

- (1)京都にある環境に配慮した建築物を調べる。
- (2)京都府産木材の活用状況について調べる。
- (3)木造建築が環境にやさしい理由についてくわしく調べる。

7年生 : 『エネルギー～〇〇博士になろう～』

7

#### 【福島現地視察総括】

私はこれまで「福島」を、「支援が必要な、かわいそうなところ」と、どこかで思っていましたが、今回の活動を通して、実際に「福島」と出会い、そうではないことに気づき、心が動かされました。(中略)その上で、クラブチームでサッカーをしている一人であり、福島のサポーターになった私が提案するのは、世界中の人たちに「福島」の素晴らしさを知つてもらうためにFukushima SDGs(福島が発信する持続可能な開発目標)を開催の理念としたサッカーワールドカップを開催することです。私は、今回の活動を通して出会った、広大な芝生と美しい花々に囲まれた自然環境の中で開催されるサッカーワールドカップを見てみたいのです。実現への一歩として、まずアンダー世代の国際的なサッカー大会を開催し、世界中の子どもたちに「福島」と出会いの機会をつくり、サッカーだけでなく、「福島」の素晴らしさを発信するサポーターになってもらいます。このようなつながりを拓げていくことが、「福島」の未来を、そして私たちの未来を創造することにつながると考えます。



# 評価の視点 “質的な視点③”

## 資質・能力の活用・発揮場面での経年的な見取り

### ● 抽出の子どもにフォーカスした個別的な見取り 生徒Aの具体

8年生:『日本のエネルギー課題』



8

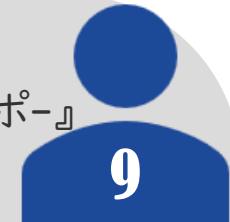
【提言コンテスト】

私は学校で核のごみ問題に取り組んでいます。(中略)「核のごみ問題」を私の**友達や家族に理解してもらう**ために、まず、自分がこれまでこの問題に取り組んできたことを**伝えたい**と思います。(中略)自分の**体験を通して学んだことや、自分の思いや意見を伝えた**上で、この問題に対する友達や家族の**疑問や意見を聞き、対話したい**と思います。

私は学校で核のごみ問題に取り組んでいます。また、学校の先輩でもある兄がすでにこの問題に取り組んでおり、家族の話題になったり、関連する書籍があったりと、身近にこの問題がありました。

このような環境の中で育った私が、「核のごみ問題」を私の友達や家族に理解してもらうために、まず、自分がこれまでこの問題に関して取り組んできたことを伝えたいと思います。例えば、私が地層処分の候補地となっている北海道の神恵内村に行って、実際に受けた説明や村の中での話し合いの内容を伝えたいです。また、青森の原燃設施行で学んだ地層処分に関する工夫について伝えると思います。このように自分の体験を通して学んだことや、自分の思いや意見を伝えた上で、この問題に対する友達や家族の疑問や意見を聞き、対話したいと思います。

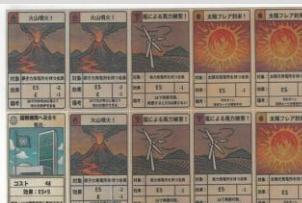
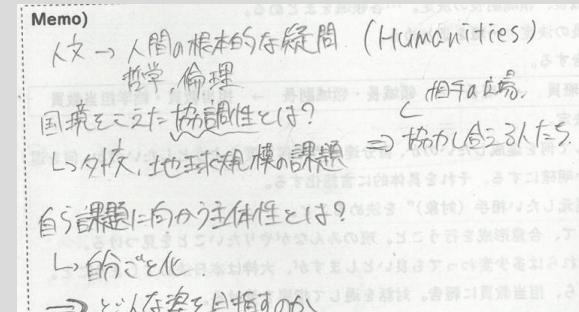
9年生:『Energy×EXPO-78期生主催エネスポー』



9

(現在進行中)【課題設定時】

人文→**人間の根本的な疑問**。(Humanities)、**哲学、倫理**国境を越えた協調生徒は?→外交、地球規模の課題→**相手の立場、協力し合える人たち** 自ら課題に向かう**主体性**とは→**自分ごと化**→どんな姿をめざすのか



# 【質的な視点】

## 資質・能力の活用・発揮場面での経年的な見取り

### ● 抽出の子どもにフォーカスした個別的な見取り

### 生徒Aの具体

6年生: SDGs『Do You Kyoto?』

#### 【京都の水】

僕がいま、何も感じずに使っている「水」に対しての理解が深まり、

り、「水」に対しての理解が深まり、

してい

【京都の水】

(1) 京

(2) 京

(3) 木

身近な社会について  
“知りたい”

6

生活を

う。

僕がいま、何も感じずに使っている「水」に対しての理解が深まり、水を大切にしようと思った。

僕は最初、あの水を見た時に、一瞬、うまいと感じました。でも、その後の動画を見て、自分達が良い生活をしていた、うまいなことを知った。

(1) 京都にある環境に配慮した建築物を調べる。  
(2) 京都府産木材の活用状況について調べる。  
(3) 木造建築物は環境にやさしい理由について詳しく調べる。

7年生: 『エネルギー～〇〇博士になろう～』

#### 【福島現地視察総括】

私はこれまで「福島」を「支援が必要な、かわいそうなところ」と

ろ」と

際に

され

いる

は、世

めに

身近な社会の課題を  
“解決したい”  
(実現可能性△)

7

目標)を開催の理念としたサッカーワールドカップを開催することです。

その上で、クラブチームでサッカーをしている一人であり、福島のサポーターになった私が提案するのは、世界中の人に「福島」の素晴らしさを知つてもらうために Fukushima SDGs(福島が発信する持続可能な開発目標)を開催の理念としたサッカーワールドカップを開催することです。私は、今回の活動を通して出会った、広大な芝生と美しい花々に囲まれた自然環境の中で開催されるサッカーワールドカップを見てみたいのです。実現への一歩として、まずアンダー世代の国際的なサッカー大会を開催し、世界中の子どもたちに「福島」と出会う機会をつくり、サッカーだけでなく、「福島」の素晴らしさを発信するサポーターになってもらいます。このようなつながりを拡げていくことが、「福島」の未来を、そして私たちの未来を創造することにつながると考えます。



# 評価の視点 “質的な視点③”

## 資質・能力の活用・発揮場面での経年的な見取り

- 抽出の子どもにフォーカスした個別的な見取り 生徒Aの具体

8年生:『日本のエネルギー課題』

【提言コンテスト】

身近な社会の課題を  
“解決したい”  
(実現可能性○)

8

の  
自  
い  
や  
意

らうために、まず、自分がこれまでこの問題に関して取り組んできたことを伝えたいと思います。例えば、私が地層処分の候補地となっている北海道の神恵内村に行って、実際に受けた説明や村の中での話し合いの内容を伝えたいです。また、青森の原燃施設に行って学んだ地層処分に関する工夫について伝えると思います。このように自分の体験を通して学んだことや、自分の思いや意見を伝えた上で、この問題に対する友達や家族の疑問や意見を聞き、対話したいと思います。

9年生:『Energy×EXPO-78期生主催エネスポー』

(現在進行中)【課題設定時】

社会の課題を  
“どう解決すべきか”  
(多角的視点・自分事)

9

自ら課題に向かう主体性とは?  
→自己化  
⇒とんでも目指すのか



# 研究の手応えと展望

---

- 主体的な学びに関するアンケート等の量的視点における評価の上昇
- 各教科等における生徒の姿、質的視点における見取りからも、義務教育段階における資質・能力育成の授業・カリキュラムの再構築について評価できる
- 資質・能力をベースとし、9年間かけて子どもの学びに対して向き合いやすい特に本校は資質・能力を複雑化・具体化していることで、より解像度の高い指導や評価が期待
- 子どもや保護者が学校に求めている要素とのギャップ、指導者の専門的知見技能の必要性

子ども自身が学びの実感や有意性の価値が高まるような工夫が必要か  
“子どもを主役とした学び”の具体化や一般化

## 引用文献・参考文献

- 1) 足立彰、「中等教育における『造形あそび的活動』を起点とした授業展開の可能性について」、日本美術教育学会学術研究大会三重大会（2018）
- 2) 安彦忠彦編著、「子どもの発達と脳科学～カリキュラム開発のために～」、勁草書房（2012）
- 3) 安彦忠彦著、『「コンピテンシー・ベース」を超える授業づくり～人格形成を見えた能力育成をめざして～』、図書文化（2014）
- 4) 安彦忠彦編、「新版カリキュラム研究入門」、勁草書房（1985）
- 5) 石井英真著、「授業改善8つのアクション」、東洋館出版社（2018）
- 6) 伊藤崇達、神藤貴昭、「自己効力感、不安、自己調整学習方略、学習の持続性に関する因果モデルの検証」、『日本教育工学雑誌』27巻4号収録、2004
- 7) 石井英真著、「授業づくりの深め方－「よい授業」をデザインするための5つのツボー」、ミネルヴァ書房（2020）
- 8) 井庭崇 編著「クリエイティブ・ラーニング 創造社会の学びと教育」、慶應義塾大学出版会（2019）
- 9) 今西竜也、他、「英語教育における小中高の接続と連携」、関西英語教育学会研究大会（2015）
- 10) 今西竜也、「小中一貫校におけるモジュール学習について～指導者および学習環境に配慮した教材の開発～」、日本児童英語教育学会関西支部英語活動研究会（2015）

## 引用文献・参考文献

- 1 1) H・リン・エリクソン、ロイス・A・ラニング、レイチェル・フレンチ著、遠藤みゆき・ペアード真理子訳「思考する教室をつくる 概念型カリキュラムの理論と実践」、北大路書房 (2020)
- 1 2) OECD (経済協力開発機構)、「THE FUTURE OF EDUCATION AND SKILLS Education in 2030」
- 1 3) 大坪 治彦、奥山 茂樹、「小中一貫教育における効果的な教育課程編成のあり方：義務教育学校制度創設との関係と鹿児島県における課題」、鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要特別号 6(2016)
- 1 4) OECD教育研究革新センター 編著、「創造性と批判的思考 学校で教え学ぶことの意味はなにか」、明治書店 (2023)
- 1 5) 外務省、「JAPAN SDGs Action Platform」
- 1 6) 樺山敏郎 著「個別最適な学び・協働的な学びを実現する「学びの文脈」」、明治図書 (2022)
- 1 7) 國原信太郎、「『句会』を通して養う論理的批評力と思考力」、京都教育大学国文学会誌45号 (2018)
- 1 8) 小塩真司著・編集「非認知能力：概念・測定と教育の可能性」北大路書房 (2021)
- 1 9) C.ファデル、M.ビアリック、B.トリリング著、岸学監訳「21世紀の学習者と教育の4つの次元 知識、スキル、人間性、そしてメタ認知」、北大路書房 (2016)
- 2 0) 白井俊著、「OECD Education2030 プロジェクトがえがく 教育の未来」、ミネルヴァ書房 (2020)

## 引用文献・参考文献

- 2 1) ジョン・ハッティ著、山森光陽監訳「教育の効果 メタ分析による学力に影響を与える要因の効果の可視化」、図書文化 (2018)
- 2 2) 田中治彦、奈須正裕、藤原孝章、「SDGs カリキュラムの創造」、学文社 (2019)
- 2 3) 谷口和成、上田綾希子、野ヶ山康弘、「科学推論課題(SRTs)による児童・生徒の認知レベルの評価と課題」、日本物理学会講演概要集66(1-2)、428、(2011)
- 2 4) 田村学著、「「深い学び」を実現するカリキュラム・マネジメント」、文溪堂 (2019)
- 2 5) 田村学 編著、紫胡の会著、「生活・総合 資質・能力の育成と学習評価」、東洋館出版社 (2022)
- 2 6) チップ・ウッド著、「成長のものさし」、図書文化 (2008)
- 2 7) 中山芳一著、「教師のための「非認知能力」の育て方」、明治図書 (2023)
- 2 8) 西岡加名恵、石井英真著、「教科の『深い学び』を実現するパフォーマンス評価」、日本標準 (2019)
- 2 9) 野ヶ山康弘、河合晋司 、小西かおり、竹間光宏 、小澤雄生 、垂井由博、「資質・能力を育成する義務教育におけるカリキュラム・マネジメント－小学校技術科の位置づけと具体的な実践例－」、日本義務教育学会紀要4号p57-62 (2021)
- 3 0) 野ヶ山康弘、岡田努、「生徒の意欲を喚起する授業デザインの構築と検討1～福島と共に学ぶ放射線教育～」、日本科学教育学会年会発表論文集 (2018)

## 引用文献・参考文献

- 3 1) 野ヶ山康弘、谷口和成、「粒子概念の系統的カリキュラムに関する検討」、京都教育大学教育実践研究紀要17号p105-115 (2017)
- 3 2) 野ヶ山 康弘、谷口 和成、伊藤 崇達「生徒の意欲を喚起する授業デザインの構築I－震災復興期の福島から学ぶ－」京都教育大学教職キャリア高度化センター教育実践研究紀要 第1号pp 1 0 1 - 1 0 9 (2 0 1 9)
- 3 3) 野ヶ山康弘、谷口和成、野原大輝、辻秀人、垂井由博、岡本幹、「持続可能な社会を目指して：附属間異校種連携による学びの保障」、日本教育大学協会研究年報 3 9 号p.149-156 (2021)
- 3 4) 藤原さと著「探究する学びをつくる：社会とつながるプロジェクト型学習」、平凡社 (2020)
- 3 5) 坂東舞、野ヶ山康弘、小西亜弥、谷口和成、「低学年における認知促進プログラムに関する研究1－英国C A S E プログラム『Let's Think!』の実践－」、日本理科教育学会近畿支部大会 (2017)
- 3 6) 藤岡達也 編著、「よくわかるSTEAM教育の基礎と実例」、講談社 (2022)
- 3 7) 平田豊誠、小間翠、野ヶ山康弘、小川博士、「電流概念と電気エネルギー概念の区別を実感できる電気回路モデルの開発と効果検証」、日本理科教育学会全国大会 (2017)
- 3 8) 文部科学省、「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」
- 3 9) 文部科学省、「新学習指導要領」 (平成29年3月公示)
- 4 0) 文部科学省、「小・中学校新教育課程説明会（中央説明会）・総則・関係資料」

## 研究協力者

国語	京都教育大学 教育学部国文学科	天野 知幸 先生
算数・数学	京都教育大学 教育学部数学科 大阪教育大学 教育学部 特任講師	黒田 恭史 先生 葛城 元 先生
社会	京都教育大学 教育学部社会学科	小栗 優貴 先生
理科	京都教育大学 教育学部理学科	谷口 和成 先生
外国語 (英語)	京都教育大学 教育学部英文学科 京都教育大学 教育学部英文学科	西本 有逸 先生 アンドリュー・オーバマイヤー 先生
保健体育	京都教育大学 教育学部体育学科 京都教育大学 教育学部体育学科	小山 宏之 先生 大島 秀武 先生
図工・美術	京都教育大学 教育学部美術科	日野 陽子 先生
技術	京都教育大学 教育学部産業技術学科	原田 信一 先生
道徳	京都教育大学 教育学部教育学科	神代 健彦 先生
家庭	京都教育大学 教育学部家政科	湯川 夏子 先生
音楽	京都教育大学 教育学部音楽科	樺下 達也 先生
特別支援	京都教育大学 総合教育臨床センター	門下 祐子 先生
生活・総合的な学習の時間	東京大学大学院 情報学理・学際情報学府 准教授	開沼 博 先生

# 研究開発学校運営指導委員会委員

筑波大学  
人間系教育学域 教授

樋口 直宏 先生

京都大学大学院  
教育学研究科 准教授

石井 英真 先生

兵庫教育大学大学院  
学校教育研究科 准教授

安藤 福光 先生

京都教育大学  
理事・副学長

相澤 伸幸 先生

京都教育大学  
副学長・附属学校部長

田中 里志 先生

京都教育大学  
教職キャリア高度化センター教授

樋口 とみ子 先生

京都教育大学  
教職キャリア高度化センター教授

山下 和美 先生

京都教育大学大学院  
連合教職実践研究所 准教授

徳永 俊太 先生